

## 学生提案成果報告 ○ 宇都宮市主催「大学生によるまちづくり提案 2023+」での研究発表 ②

2023年12月1日  
宇都宮市「大学生によるまちづくり提案 2023+」  
私たちでつくる「アスノミヤ」  
～スーパースマートシティの実現に向けて。

宇都宮大学 シティライフ学部  
内藤マケケ ティング論ゼミ2年  
大野洋輔 柿沼咲妃 佐藤瑞季

1

(1)

### 提案の背景・目的

- 一年を通してキャンパスを彩ることで周辺地域の賑わいを創出し、地域住民に対してまちを統一したテーマで飾ることへの関心を高め、活動を全市規模には波及させることで最終的には「住む住人にも訪れる人にも楽しく愉快な宇都宮」を実現する。
- 同様の活動を市内の他の地域、例えば特定の商店街でも展開することで、企業家精神に富んだまちづくりのきっかけを作る。

3

(3)

### 調査研究の流れ

**ゼミの研究テーマ**  
宇都宮シティキャンパスの施設を活用し、周辺地域のまちづくりについて考え、実行する

**提案のテーマ**  
宇都宮シティキャンパスの施設を彩り鮮やかにデコレーションし、周辺地域の賑わいを創出し、統一したテーマで飾ることへの関心を高め全市規模に波及させる

**7・8・10月のデコレーション実施**  
7月は七夕デコレーションを実施  
8月は宇都宮花火大会開催ポスター掲示  
10月はハロウィンデコレーション実施

**ペデフェス運営参加**  
JR宇都宮西口で開催のペデストリアンデッフェスに運営として参加

**今後の調査研究活動（予定）**  
・11・12月のデコレーションの実施  
・市内商店街へのインタビュースタッフ実施、協力依頼

2

(2)

### 提案の目標・課題

「私たちでつくる「アスノミヤ」  
～スーパースマートシティの実現に向けて～」との関連

- 宇都宮を訪れた多くの人が魅力を感じるような活気のある商店街や街並みを創出したい
- そのために、どのような特性を持つ顧客や消費者の集団に対して、どのような事業を展開していくのかという「企業家精神」に富んだ商店街の運営や街並みの形成を目指していく
- 市民、事業者、学生、行政等様々な人たちが、「企業家精神」にとんだ商店街運営や街並みの形成について考える出発点としての「デコレーション・プロジェクト」を市内随所で展開させる方法を考える

4

(4)

## デコレーション実験

ゼミ生が運営スタッフとして参加するイベント開催告知掲示をFacebookに掲載し、リアクションと共通の友人の数を計測することで波及効果を数値化。



### 7月 宵まち宮灯ろう開催告知掲示

デコレーションアイテム：七夕  
リアクション：15人  
共通の友人：76人



### 8月 宇都宮花火大会開催ポスター掲示

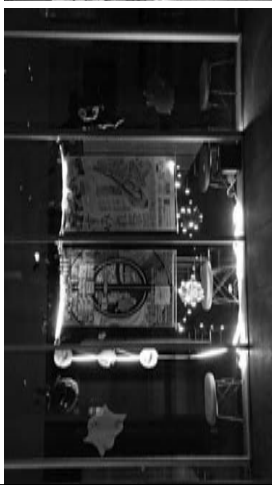
デコレーションアイテム：向日葵  
リアクション：15人  
共通の友人：124人



(5)

10月・11月

：ハロウィンと2学部大学祭  
開催告知広告の掲示



(6)

## 10月・11月調査の結果



### 宇都宮大通りをはじめとする市内の街なみや商店街について

- ◎ ほとんどの楽しめるスペースが増えたらよい
- ◎ LRTや本街の景観が強くなるのが少ない
- ◎ 店舗が多すぎて歩いていてつらくない
- ◎ 店舗が多い
- ◎ 手頃なものが多く、おまかせが嬉しい
- ◎ 子供がもっと楽しめる空間が増えたらよい

### 宇都宮のまちについての感想

- ◎ 昔は餃子、今はLRT 連携するものがない
- ◎ 新しい交通網が整備されて便利になりそう
- ◎ まちを装飾するのは良いアイデア



(7)

## パDESTリアンデッキフェスティバルへの運営スタッフとしての参加

- ▶ 8月25日(金)、26日(土)の二日間、JR宇都宮駅西口で開催のパDESTリアンデッキフェスティバルに2年ゼミ生3名が参加
- ▶ 運営スタッフとして準備期間にパDEST 実行委員会のメンバーとして従事
- ▶ 地域住民、学生(シテイライフ学部パDEST実行委員会)、事業者(西口懇談会)、行政(宇都宮市道路管理課)等が、「おもてなしとLRT西口延伸PR」という共通の目的のもとに観光客を対象に多彩なプロジェクトを実施する「企業家精神」にとんだ活動を実際に体験した



(8)

